

学 年	教科等	題材名	日 時
第2学年	図画工作科	まぜまぜ こねこね	平成30年10月30日(火) 6校時
本時に おける 「深い学び」	細かく刻んだ2種類の紙それぞれに液体粘土をまぜ、こねて紙粘土をつくっていくなかで、紙の種類によって、できあがる紙粘土の質感に違いがあることに気付いている姿。		

質感を重視した題材の開発

厚紙、お花紙と液体粘土をまぜ、手でこねて紙粘土をつくる「まぜまぜ こねこね」という題材を開発することで、質感を中心とした造形的な見方・考え方が働くようにします。



材料や用具とかかわる時間の位置付け

題材の指導計画に、自分たちの手で紙粘土をつくる時間を設定することで、紙の種類によって紙粘土の質感が異なることに気付くことができますようにします。

手や用具を使った働きかけ

用具：粘土ペラ・スプーン・フォーク・割り箸

こっちの紙粘土は、かたくてごわごわしているよ。こねるのが大変だ。

ふわふわの紙に少しずつ粘土のもとをまぜると触り心地が変わってくるのが分かるぞ。

粘土ペラを使うと、でこぼこがなめらかになりそうだなあ。

用具を使うのもおもしろそうだね。

始めはばらばらだったけど、ずっとこねていたら、まとまってきたよ。

始めは気持ち悪かったけど、このふわふわは、何だかくせになるなあ。

紙の質感への気付き

厚紙の紙粘土がお気に入りになったよ。のりがたくさんついていているようなかたいおにぎりができたよ。

お花紙の紙粘土は、普通の紙粘土と同じでやわらかかったよ。

液体粘土の量への気付き

落としてみると、私の紙粘土はべちゃっとなったけど、友達のは、はずんだよ。

授業をふりかえって

- 質感を重視した題材を開発し、材料や用具とかかわる時間を明確に位置付けたことで、紙の種類による質感の違いについて気付くことができた。
- 活動の場や、質感への気付きを促すしかけ、友達同士での質感の共有のさせ方について研究していく必要がある。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

- 指導計画（3時間）
- (1) 質感の異なる紙粘土をつくる。—————1時間（本時）

(2) 質感の異なる紙粘土を使って作品をつくり、鑑賞する。—————2時間

- 本時の目標
- 紙の種類によって、できあがる紙粘土の質感が異なることに気付くことができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
1 本時の学習内容について話し合う。 ○ 厚紙を用いた紙粘土づくりの工程 ・ 「ざくざくしているね。」 ・ 「だんだんまとまってきたぞ。」 ・ 「早くさわってみたいな。」 ○ 本時のめあて お気に入りの紙ねん土を見つけよう。 2 活動の進め方について確認する。 ○ 材料、用具、場、時間 3 紙粘土をつくり、手や用具を使って働きかける。 ○ 質感の違う紙粘土 ・ 厚紙 ・ お花紙  ○ 手を使った働きかけ ・ 丸める、にぎる、こね続ける、ちぎる等 ○ 用具を使った働きかけ ・ 割り箸で刺す、フォークで引っかく等 4 気付いたことを話し合う。 ○ 紙の種類による紙粘土の質感の違い ・ 「硬くて頑丈だからお気に入りだよ。」 ・ 「ふわふわしているからお気に入りだよ。」 ・ 「長くこねていると、硬い紙もやわらかくなってきたよ。」 5 本時学習をふりかえる。 ○ 紙の種類による紙粘土の質感の違い	○ 目の前で紙粘土をつくって見せることで、手順が分かるようにするとともに、学習への関心が高まるようにする。 ○ 細かく刻んだ厚紙とお花紙を提示し、「お気に入りを見つけよう。」とめあてを設定することで、比べたり試したりするという活動をイメージできるようにする。 ○ グループで友達とかかわりながら活動させることで、紙粘土の質感に対する自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。 ○ 紙粘土に触ることに抵抗のある子どもには、紙粘土を少しずつ手に取って触らせることで、抵抗感を軽減することができるようにする。 ○ 「厚紙の紙粘土とお花紙の紙粘土を比べるとどんな感じがする。」と問い、比較させることで、紙粘土の質感の違いに気付くようにする。 ○ 紙粘土づくりをしながら、何かをつくり始めた子どもには「何をつくっているの。どうしてその紙粘土でつくろうと思ったの。」と問うことで、紙粘土の質感の違いに意識が向くようにする。 ○ 働きかけの幅を広げられない子どもには「友だちのを見てごらん。」「試してみたい用具はないかな。」と声かけをすることで、多様な働きかけができるようにする。 ○ お気に入りの理由も考えさせることで、造形的な視点から紙粘土の質感の違いについて捉えることができるようにする。 ○ 紙粘土の質感の違いについて整理することで、紙の硬さややわらかさを生かした作品づくりのイメージをもつきっかけが得られるようにする。

○ めざす子どもの姿

まぜる紙の種類によって、触った感じが全然違うね。わたしは、握ったときにふわふわした感じのする紙粘土がお気に入りだよ。

【知識・技能】

